

横浜市戸塚区民文化センター さくらプラザ 情報誌

SAKURA

Since 2013



Vol.41
5・6月号

私は、「わたし」に会いにゆく。さくらプラザで、逢いましょう。



輝く美声が、 さくらプラザ・ホール 450 席を包み込む—

== INDEX ==

Pick Up Artist

声楽家

福井 敬

さくらプラザ 自主事業レポート

こどものための芸術の学校（ダンスシアター／演劇）
春の芸術祭 2020

連載

音楽の隠し味／白川 優希
音楽に酔う／Daryl Jamieson
男は背中で物語る 戸塚見返親仁
戸塚今昔物語

声楽家 ふくい けい 福井 敬

～輝く美声がさくらプラザ・ホール450席を包み込む～

6月13日に予定をしておりました、福井 敬テノールリサイタルは新型コロナウィルス(COVID-19)の影響で公演が延期となりました。2020年2月に行ったインタビューの模様を来年 1月の振替公演に向けてお届けいたします。福井さんの考えるクラシックの魅力や、公演の聴きどころをお楽しみください。

声楽を始めたきっかけをお聞かせください。

福井 敬(以下、略):

元々音楽が大好きで、中学、高校では吹奏楽部でトロンボーンを吹いていました。ただ、楽器でプロになるのは難しいと思い、音楽を続けるためにはどうしたら?と考え、音大を受験しようと決めました。

私は出身が岩手ですが、音楽の専門的な先生を探すのが一苦労で、地元の教会にいらした牧師さんが音大出身で、その方に声楽を習うなど、多くの方に助けられて音楽大学に進むことが出来ました。

—音楽大学はどんなところでしたか?

根本に「音を奏でることが好き」というのがあり、その瞬間が一番自分らしくいられたので、同じ“志”を持つ仲間がいる環境はすごく面白くて、声楽のレッスンや門下の重唱、合唱のサークルなど、四六時中とにかく歌っていたので、楽しくて仕がない!毎日を過ごしていました。

それは今も変わらず、「楽しい、面白い!」という気持ちが原動力となり、歌い続けています。

—大学院を受験されていますが、なぜですか?

将来の道などは考えていませんでしたが、その楽しいことをもっと続けたいと考え、受験しました。

しかし大学院では、ただ楽しいという思いだけではなく、声楽家として作品を伝えるということはどういうことなのか、社会に出て音楽やオペラをお客様に魅せるために、どうアプローチするか等「作品を研究する」「本質を突き詰める」ということを学び、今までにはない意識の変化がありました。

大学院、その後学んだ文化庁のオペラ研修所での経験が、プロを目指して生きて行く覚悟につながりました。

—留学はいつ頃から意識されましたか?また留学先にイタリアを選んだ理由は?

留学は意識していたわけではないのですが、全力で突き進んでいたら、ありがたいことに文化庁在外研修の制度でイタリアに留学するチャンスを得ました。

選んだ理由としては、オペラが生まれたイタリアの風土や人柄、空気を感じたいと考えての選択でした。

—留学中の思い出をお聞かせください。

旅行者ではない、イタリアの日常の中にいられることがとても楽しく、毎日街中を散策していました。何気ないところに歴史が溢れていて、普段歩いている街頭の石畳も、石の



ひとつひとつが人の手作業で組まれていたり、紀元前の遺構が街の片隅に残っていたり。困ったこととしては、急病になって注射を自分で打たなければならなかったり、スリにあつたりと色々ありましたが、今ではいい思い出です(笑)。



↑ナポリのマルカート

晴らしい発声で、「Limone(リモーネ)! Limone(リモーネ)!」と歌って(正確には叫んで)いまして「こんなところに来てしまったんだな……!」と、楽しくて仕方がなかったです!

—留学から日本に帰ってきて直ぐにデビューされていますね。

私が二期会というオペラ団体でデビューしたのが二期会創立40周年記念のプッチーニ作曲「ラ・ボエーム」というオペラでした。イタリアのタクシー運転手が歌ってくれた曲ですね(笑)。

本来ならまだ無名の私が選ばれることは無かったかも知れないのですが、「ラ・ボエーム」は芸術家を志す若者達の青春群像を描いたオペラで、しかも二期会の旗揚げ公演がこの「ラ・ボエーム」だったので、創立当時の気概を、ということで若い私が選ばれたのかも知れません。

—オペラに出演する魅力は何でしょうか?

オペラは歌手やオーケストラ、スタッフ等、とにかく沢山の人が関わって1つの作品を作り上げます。

様々な想いを皆さんと一緒に分かち合い、作品を作るために更に高めていく過程が面白く、特に稽古している瞬間に喜びを強く感じます。逆に、終演すると達成感もありますが、「ああ、この積み重ねられた状態から稽古が始められたら、もっと良いものになるのに……!」と、少し寂しくもなります。

—何度も同じ曲・演目を演奏すること、またそれをお客様が聞くことの魅力をお聞かせください。

クラシックの音楽は、何百年も前に作られた1枚の楽譜を「ああでもない」、「こうでもない」と繰り返し演奏することです。演奏する人や共演者、時代や場所によって、また演奏者自身の年齢や体調でも全く違った演奏、音楽になります。そこが生の音楽の魅力で、聴くお客様にとっての楽しみでもあると思います。

—ソロで歌うこととオペラはどう違うのでしょうか?



私の中ではリサイタルもオペラも大きな違いはありません。私にとってリサイタルは、モノ・オペラ(一人で演じるオペラのようなもの)です。プログラムの中で“起承転結”を考え、一曲一曲に詞がありストーリーがあり、ドラマがあるので、それを声で演じ、表現しています。

—戸塚公演では、プログラムに名曲の数々を取り入れていただいているが、どのようなコンサートをイメージされていますでしょうか?

まだプログラムを練っているところですが、テノールの名曲が詰まった「宝石箱」のような演奏会にしたいと思っています。

ホールが声楽にはちょうどいい広さですので、私の声はもちろん、表情や息遣いなど、表現の全てをお楽しみいただけると思いますし、私からもお客様のお顔や反応が拝見できますので、音楽を通して皆様と会話しているようなコンサートにしたいですね。



びわ湖ホール 沼尻竜典オペラセレクション
歌劇『リゴレット』(2014年10月)
写真提供:滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール

—共演される谷池重紹さんはどのような方でしょうか?

私のデビュー前からコンサートのピアノを弾いて頂いています。

ですから、私の音楽は谷池さんと一緒に創ってきたと言つても過言ではありません。人間的にも音楽的にもとても素敵な方ですので、皆様もきっとファンになられるのでは?

—最後に一言お願い致します。

さくらプラザ・ホールでの演奏会は今回が初めてで、今からときめいておりますが、たくさんのお客様にご来場いただき、お楽しみいただけたらと考えております。ご来場をお待ちしております。

(構成／近藤 喬之)

↓お手持ちのスマートフォンでQRコードを読みこむと、福井さんからの公演に向けたメッセージ動画をご覧いただけます。(2020年2月撮影)



福井 敬(テノール) Kei Fukui

国立音楽大学大学院修了後、文化庁オペラ研修所を経て渡伊。デビュー以来群を抜く輝かしい声と卓越した表現力で長きにわたり日本を代表するテノールとして活躍。これまで二期会「オテロ」、「ローエンジン」、「トスカ」とイツルディ等の題名役をはじめ、数多の主要な役を演じている。コンサートでは、小澤征爾指揮水戸室内管弦楽団第100回記念定期演奏会の他、Z.メータ指揮ウィーン・フィルと共演する等、国際的評価を得ている。CDも「アマリリス」等多数リリース。第65回芸術選奨文部科学大臣賞をはじめ多数受賞。国立音楽大学教授。東京藝術大学非常勤講師。二期会会員。



谷池 重紹子(ピアノ) Etsuko Taniike

武蔵野音楽大学卒業。歌い手の音楽に寄り添うように弾かれるピアノには定評があり、現在第一線で活躍している歌手のリサイタル、オペラ、合唱伴奏及び録音、放送等数多くの手掛け、絶対的な信頼を寄せる存在として活躍。また新国立劇場オペラ研修所、東京音楽大学大学院では伴奏者兼コーベティとして、明日の日本オペラ界を担う若手音楽家達を支えている。

日本を代表するスーパー・テナー
福井 敬 テノール リサイタル

2021年1月31日(日) 14:00開演

*詳細は裏表紙をご覧ください。

※2020年6月13日(土)より延期となりました。

子どものための 芸術の学校



ダンスシアターワークショップ

2019年12月26日(木)～28日(土)全3回
会場:さくらプラザ・リハーサル室

2019年の冬休みは、“魂(たましい)ってなんだろう”というテーマでダンスシアターワークショップを行いました。おどりながらしゃべったり、演じながら舞ったり……演劇とダンスの境界線で表現をするダンスシアター。幻想的で素敵な作品ができあがりました!



振付家・演出家 美木 マサオ(みき まさお)さん

ダンスアートユニット「マサオプローション」主宰。振付家として、今までに100本以上の演劇やミュージカル、2.5次元系舞台などを振り付け。身体表現のWSにも定評があり、ダンサーだけでなく、俳優、子ども、障害のある人など、様々な方を対象に行う。さくらプラザでは2018年度にも「子どものための芸術の学校」講師を務めた。



まずはゲーム感覚でからだを動かしてみました。最初はぎこちなかった子も、風船の動きをマネしたり、からだで自分の名前を書いたりしているうちに、少しずつ自由にからだが使えるようになりました！

「魂からはどうな言葉が想像できる？」
フワフワ、ヒューヒュー、ボワッ、ティカ
ティカ……どんどん意見が飛び出しました。

そのあとは、それぞれの言葉に動きをつけていきます。

美木さんが考えた「たましいってなんだろう？ どんなもの？ 目には見えないのかな 死んだらなくっちゃうのかな」という4つのフレーズ毎の振り付けも練習！
3日間という短期間のワークショップですが、完成形が見えてきました。



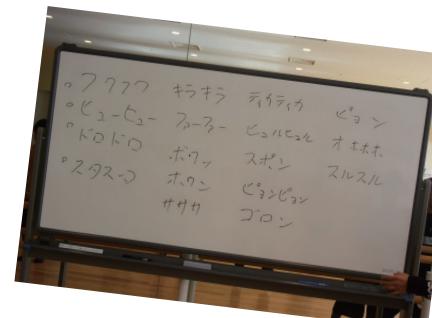
最終日、集まってくれたご家族 約30名の前で成果発表会！

～魂はどこにある？ どこからきて、どこに向かうのか～

コミカルな動きもありながら哲学的なシンもあり、こどもたちだけではなく、きっと会場にいたそれそれが“魂”に想いを寄せた時間になったことでしょう。



最後は美木さんを囲んでパチリ！
達成感でいっぱいの表情が素敵でした。



子どものための芸術の学校とは…

演劇・ダンス・パントマイム・落語・日本舞踊など、からだをつかったパフォーマンスをこどもたちが学ぶ場です。芸術活動に関心を持ち継続して学びたいと思った子どもたちが、専門的な教育を受けることが出来る年齢になるまでの間、自らの意志で、自主的に学ぶ機会を提供します。

オンライン演劇ワークショップ

2020年3月29日(日)開催 全1回
会場:さくらプラザ・リハーサル室



本来開催予定だった「演劇ワークショップ～ともだちってなんだろう？～」は新型コロナウィルスの影響で中止に…。学校も休校が続く中で、こどもたちに演劇で楽しんでもらえる機会を作れないかと講師の有吉さんと相談し、オンラインでのワークショップを開催しました！今回はその舞台裏をのぞいてみましょう。

さくらプラザ・リハーサル室をスタジオにし、オンラインミーティングアプリの「ZOOM Cloud Meetings (ズームクラウドミーティング)」を使用して開催しました！カメラの前の有吉さんはこんな感じ…。準備の時に色々な映り方を試されました。おかげで有吉さんの表情はこどもたちに明るく届いたようです…！

振付家・演出家 有吉宣人(ありよしのぶと)さん
神奈川県出身の俳優、ドラマトゥルク、演劇ワークショップの進行役。青年団の平田オリサ氏主宰のこまばアゴラ演劇学校「無隣館」修了。また、東京都世田谷区の公共劇場・世田谷パブリックシアターにて、演劇ワークショップについて学ぶ。進行役として、全国各地の学校や劇場などで、老若男女、様々な人たちとの演劇経験を問わない演劇づくりを行っている。さくらプラザでは小学校へのアウトリーチ、アートバザール2019、子どものための芸術の学校(2019年7月)に出演。



YouTubeLIVEでの同時配信も行いました。
その時の動画はこちら →



まずはウォーミングアップとして、昨年7月に開催した際も大好評だったシアターゲーム(*) 「博枝(たるえだ)」。今回は画面の前でもできるようにした縮小版でしたが、有吉さんは汗をかくほど走りこんでいましたよ！

(*)シアターゲームとは、体を動かしながらゲーム感覚で参加できる、演劇の力を育む遊びです。

今回のメインテーマは「ともだちってなんだろう？」。こどもたちは「ともだち」に対してどのような時に「ともだち」と思うのか、思い浮かべた「ともだち」に語りかけるようにして発表してくれました。「ともだち」について、こどもたちと一緒に考える真剣な表情の有吉さん。十人十色な「ともだち」模様に、こどもたちも笑顔になっていました。

今回は残念ながら皆で集まることはできませんでしたが、皆が一緒に集まればきっと「ともだち」の輪が広がったはず…。落ち着いたら必ず元気で会いましょう。その時は、さくらプラザとも「ともだち」になってくださいね。その時を楽しみにしています。



最後は皆で一本締め！

春の 芸術祭 2020

さくらプラザ利用団体・アーティスト・区民…アートに溺れる 3日間

2020
2/20
木

2020
2/22
土

全館を使い、市内で活動されている方を
演奏や展示で紹介しました。

4F ホール

SPECIAL GUEST 鈴木 理恵子、若林 順



ヴァイオリン&ピアノ
♪ヴィヴァルディ: ヴァイオリン協奏曲集Op.8-1~4「四季」より「冬」第2楽章
♪クライスラー: 愛の悲しみ
♪加古隆: アダイ・アダイヘブルネイの古謡による
♪バラディス・シテリアー
♪モンティ: チャルダッシュ

明治学院大学愛好会吹奏楽部



吹奏楽アンサンブル
♪広瀬勇人: ロックポート(フレキシブル五重奏)
♪フランツ・レハール(作曲) 鈴木英史(編曲):
喜歌劇「メリー・ウッドウ」セレクション(サックス四重奏)

坂巻貴彦



ピアノ
♪トショバイン: ノクターン 作品9 第2番 ホ長調
♪トショバイン: 4つのマズルカ 作品17より 第2番 ホ短調
♪シマノフスキイ: 20のマズルカ 作品50より 第2番
♪トショバイン: ワルツ第5番「大円舞曲」作品42 変イ長調



木管五重奏
♪モーツアルト: 弦楽四重奏曲 第17番 変ロ長調より 第1楽章
♪メリーボビンズより メイン・タイトル



フルクローレ
♪フローウンディア ♪遠い道のり ♪サンフランシスコ



箏アンサンブル - 箏樂音 -



声楽アンサンブル
♪Eriks Esenvalds: O Salutaris Hostia
♪西村朗: 無伴奏女声合唱のための寂光哀歌「平家物語」灌頂巻より『さくら』
♪Morgan Lewis(GwynArch編曲): How high the Moon

3F ギャラリー

3日間にわたり、全9団体が展示を行いました。普段「1人だけでは展示が難しい」といった個人の方や、この日のために作品を制作している団体など、「春の芸術祭 2020」という発表の場を、それぞれにご活用くださいました。心がこもった作品がたくさんあり、見ごたえのあるギャラリー展示となりました。

坂巻 愛子



アート・先生とみんなの会

アート・先生とみんなの会

トールペイント、パンアート 他

絵画・掛軸・書道

大森 洋太郎



切り絵、水彩画、ペン画、木製品

アート・先生とみんなの会



アート・先生とみんなの会

トールペイント、パンアート 他

大谷 和一



恒陽彩会スケッチ部

風景画(水彩画)

絵画作品10~15点の展示/小作品・作品絵葉書

神奈川県きりえの会



きりえの作品

体験あり

似顔絵たまてばこ



似顔絵

つかアートプロジェクト



パステル画・油彩画・洋画 他

YOKOHAMAN



写真・イラスト・立体など

次のページに続く

すべて参加無料！各部屋の特性を活かしたミニコンサートやワークショップは大人気でした！

《リハーサル室》

クラシックバレエレッスン
ワークショップ 生ピアノ伴奏付き



講師：リサバレエアカデミー
大山理紗、大山詩織
ピアノ：伊東優里
協力：リサバレエアカデミー
憧れのバレエをじっくり楽しく体験。最後は素敵
なポーズで記念写真♪帰る頃には皆バレリーナ
になっていました。

《練習室1》

ヴァイオリンミニコンサート
演奏体験コーナー付き



演奏：蛯名桃子（ヴァイオリン）
望月香菜子（ピアノ）

♪エルガー：愛の挨拶
♪モンティ：チャルダッシュ
体験では「エトピリカと一緒に演奏してみよう♪」
と題し、初めての方でもプロの方と一緒に演奏す
ることができました。

《練習室2》

音響機材操作
ワークショップ



講師：金森大
(ピアニスト / レコーディング・エンジニア)

音響卓の使い方を基礎からしっかり説明。
実際に操作をしたり、ケーブルの八の字巻き体験
をしたりと、充実したワークショップとなりまし
た。

《練習室3》

ハンドパンミニコンサート
演奏体験コーナー付き



演奏：三神絵里子（パーカッション）

ふと始まる即興演奏……三神さんのトークと一緒に、ハンドパンの魅力や幻想的な音色をお楽しみいただきました！

《練習室4》

いきいきとした美しい笑顔になるための
顔ヨガワークショップ



講師：川野恵子

（株式会社笑顔育 代表取締役／
一般社団法人笑顔トレーナー協会代表理事）

顔の筋肉ってこんなに動かしていなかったの？
表情筋を柔らかくして、美しい笑顔を手に入れ
ましたね！継続していきましょう！

さくらプラザスタッフ推薦を含む、バラエティ豊かな7店舗に出店いただきました！

参加団体：吉田屋本店（和菓子）、Vend（軽食）、新海（プリン）、mini*flower & くりこばこ（アクセサリー）
タンポポのわたげ（布小物）、tampopo（アクセサリー）、アートクルール（工芸）



バラエティ豊かなイベント
が一度に楽しめて大満足です、というお声をたくさん
いただきました。これからも充実したイベントを企画
いたしますので、ぜひまた遊びに来てくださいね！

音楽の隠し味 Op.6

このコーナーでは、作曲家や有名曲の意外な一面を知ることで
クラシック音楽をより楽しめる「隠し味」をご紹介します。

ピアニスト 白川 優希

第6回目はシューベルトです。

19世紀に活躍したオーストリアの作曲家で、「歌曲王」として現在も讃えられています。美しく覚えやすいメロディと曲中の場面転換がスムーズであることが作品の特徴です。

今回はそんな彼の『怒り』が隠し味です。

何故シューベルトが「歌曲王」と呼ばれているのかというと、わずか31年の生涯で約600曲もの歌曲を生み出した事からそう名付けられています。更に、その質も素晴らしいものでした。

それまで歌曲というジャンルは、作曲家が気軽に作るもので、誰でも歌えるようなものが大半でした。しかし彼は、歌詞につけられた微妙な感情の変化も音楽で表現しようとしています。その結果、歌曲を音楽的な芸術作品として仕立て上げました。

代表曲として歌曲『魔王』D328がありますが、今も中学校の音楽の授業で教材として使用されています。衝撃的なラストにこの曲を覚えている方もいらっしゃるのではないでしょうか。語り、父、子、魔王を1人4役で歌い分けるこの曲は、怯える子を父がなだめる様子や、魔王が黄泉の国へ誘う甘い書きが印象的です。ピアノ伴奏もかなり難易度が高く、作曲した本人さえ「これを弾くのがこんなに難しくさえなければ、僕もこの歌が楽しめるのに」と言って簡略化して弾くほどでした。それだけ歌曲にこだわりを持って作っていたシューベルトですが、歌曲王としての名声が上がるにつれて、ある怒りが湧き上がります。それは、「僕は歌曲だけではない！」

ということです。全ての音楽に細やかな気遣いをして曲を作り上げていた彼は、歌曲王、すなわち歌曲だけの作曲家というレッテルに我慢なりませんでした。

さて、彼の性格について友人達は口を揃えて「穏やかで謙虚」といい、生涯怒った事はたった3回のみでした。その中で彼のプライドが見受けられる出来事をご紹介します。



シューベルト

彼がある程度有名になってから参加した飲みの席にて、オーケストラ団員数名が「何か僕達にも曲を作ってよ」と気軽に言った時のことです。無名時代には目も止めてくれなかつた連中が、有名になった途端に曲をねだる等と作曲家を軽んじている態度に非常に腹を立てて「僕はフランツ・シューベルトだ！ただの歌曲作曲家じゃない、芸術家なんだ！君達は芸術家のつもりか！？君達には理解出来ない領域で美しいものを作った男だ！」と珍しくきつく怒りました。アルコールが入っていたとはいえ普段温厚な彼が怒ったということは周りをとても驚かせたそうです。翌朝、心配した彼の友人が家を訪ねると、眼鏡をかけたまま脱ぎ捨ててあった服に囲まれた作曲家は「怒った事を反省はしているが、あの小僧達にはあれで良いんだよ。そのうちに何か作曲してあげようとは思っているけどさ……。」と呟いたと伝えられています。

どんな編成でも、曲の1つ1つにプライドをかけて作っていたことがよく分かるエピソードで、実際にシューベルトのピアノ曲や室内楽曲、交響曲は今も高い評価を受けています。シューベルトの『怒り』は作品の隠し味となっているのではないか。

おすすめの一曲

シューベルト /

交響曲第8(9)番 『ザ・グレイト』 D944 ハ長調

歌曲王として名高いシューベルトですが、本人が申し立てていたように交響曲も非常に高い評価を得ています。28歳の時に作曲されたこの曲は、莊厳に加えて彼特有のメロディを「歌う」表現が加わった為に世界中で認められ、今もよく演奏されています。2本のホルンのみではじまる交響曲は当時珍しく、観客を魅了しました。全楽章で1時間程と長大のため「天国的な長さ」と言われています。『schubert symphony great』で検索するといつかの音源が見つかるのでは是非聞いてみてくださいね。

※参考文献

作曲家別名曲解説ライブラリー(1994)『シューベルト』音楽之友社

藤田晴子(2002)『シューベルト 生涯と作品』音楽之友社

村田千尋(2004)『作曲家○人と作品 シューベルト』音楽之友社

O.E.ドイツ編/賀吉晴夫訳(2004)『シューベルトの手紙』メタモル出版

白川 優希 Yuki Shirakawa

横浜市立南高等学校普通科卒業。桐朋学園大学ピアノ科卒業。井上節子、川島伸達各氏に師事。
テレビ朝日系列「はじめまして、愛しています。」「『警部補・碓氷弘一シリーズ』殺しのエチュード/マインド」ピアノ監修。
フジテレビ系列『世にも奇妙な物語「シンクロニシティ」』ピアノ協力。
また、自身の企画で戸塚さくらプラザと泉区民文化センターにて「オペラ紙芝居」を開催。戸塚さくらプラザのイベントに多数出演。



プッチーニ — ヴェルディと共に、ロマン派的オペラのイタリア代表者と考えられている作曲家です。2人の生きた時代から約1世紀ほど経った現在、ヴェルディと比べてプッチーニの作品は近代化の傾向が見て取りやすいかもしれません。プッチーニは1924年に亡くなりましたが、非常に有名な最後の作品「トゥーランドット」は彼の死後、1926年に初演されました。現代音楽の衝撃的な幕開けといえるストラヴィンスキーの「春の祭典」から14年も後のことです。「トゥーランドット」は剥き出しな筋書きや打楽器を多用するなどの荒っぽいオーケストレーションがあり、中国の場面設定に対しては中国の民謡を用いるなど、ヨーロッパ中心主義的な立場が目立ち、20世紀以前の作品という印象を強く与えます。とはいっても、少なくともある点においては、プッチーニは19世紀ロマン派の伝統を守っていました。例えばメロディーです。CMやワールドカップ、ロックバンドのカバーを通じてでも、テノールの有名なオペラアリア「誰も寝てはならぬ」を聴いたことがあるでしょう。この偉大なメロディーは、20世紀の音楽にも引き取らない魅力があります。2021年1月31日、さくらプラザ・ホールで日本を代表するテノール歌手の福井敬さんが、本曲を含め様々な名曲を歌います。

でも、こうも人を酔わせるメロディーを聴いた後、その雰囲気を保ったまま、どんなお酒を飲みましょうか？旋律は傑作ですが、歌詞も考えてみましょう。外国の王子様である主人公カラフが「冷たい寝室」にいる中国のトゥーランドット姫を自分のキスで「ものにする」という主題です。これは勢いづいたヨーロッパが植民地主義に従事して、寝ている（鎖国）アジア諸国を「ものにする」という隠喩なのではないでしょうか……。暴行や侵略、いずれにしても結構酷い話でしょう。そこで今日のお酒は、ほろ苦い「東西カクテル」です。40mlの紹興酒（良いブランドを試すべし）と20mlのChina Chinaを混ぜます。ヨーロッパ人にとってアジアの味というイメージするビタースイートな美味しいフランスのオレンジ・リキュールをグラスで混ぜ、トニックウォーターをいっぱいに満たします。キナキナがなければコアントロー（またはトリプル・セック）と1、2滴のオレンジ・ビターズに代えても楽しめます。

さあ、乾杯！



今回取り上げられた公演がお楽しみいただけます。
日本を代表するスーパー・テナー 福井敬 テノールリサイタル
2021年1月31日(日) 14:00開演
全席指定 一般4,500円／横浜市民4,000円／
EX(2F見切れ席) 3,000円／学生2,000円
※横浜市民・学生、EXはさくらプラザのみの取扱い。
【出演】福井 敬 (テノール) ／谷池 重紘子 (ピアノ) ※2020年6月13日(土)より延期となりました。

作曲家ゼミソン・ダリルの
聴き飲みメモ
vol.6



Daryl Jamieson(ゼミソン・ダリル)
日本在住カナダ人作曲家、美学研究者。
東京藝術大学学んだ。
一柳慧コンテンポラリー賞を受賞。
「工房・寂」主宰。
<http://daryljamieson.com/jp/>



其之
四十二
人は皆
背中で語る…
見返戸塚人

※今号より「見返親仁」は「見返戸塚人」にリニューアル、バージョンアップしました!!

戸塚の魅力あふれる方々を紹介
するコーナーです。

—さくらプラザで働く前はどのような仕事をしていたのでしょうか？

大学卒業後にイベントを企画する仕事について、その後20年以上、様々な演目が行われるホールでプランナーとして働いてきました。ご縁があり2018年4月よりさくらプラザの館長を務めています。詳しくはタウンニュースの記事でもお楽しみいただけますのでご覧いただければ嬉しいです。

—ズバリ「館長」とはどんなお仕事でしょうか？

現場の責任者です。お客様にご利用いただく貸館と、さくらプラザから文化を発信する主催事業の責任をもつまとめ役です。もっと言ってしまうと、お客様に満足していただけるよう、スタッフが最大限の力を発揮して働けるようにするのが私の仕事ではないでしょうか？スタッフそれぞれに個性があり、得意不得意なことがありますので、そのあたりを考慮しつつ引っ張っていくことも大切だと考えています。

—「働く」ということをお聞かせください。

この業界の話をしますとお客様のご利用を待つという「待ち」の部分が多いので、小さなこと一つ一つに興味



タウンニュース
2018年4月5日号

や楽しみを持って、より良くしていこうという気持ちが大切ではないでしょうか？仕事なので上手くいかないことで失敗など、逃げ出したいこともあります、そこを改善していくことも自分なりに魅力を感じて達成感に繋げて欲しいです。自分の中での達成感を持てないとモチベーションの維持が大変な業界ではないでしょうか？

—通勤時間の楽しみは何ですか？

都内から1時間程度かけて電車に乗り通勤しているので色々あります。マイブームはタブレットで本を読むことです。紙の本だと多くは持ち歩けないですし、家が本だけになってしまって、大変に入っています。後は外の景色を見ることも好きです。同じ景色でも天気によつて雰囲気が変わるので楽しめます。

—戸塚はどんな場所ですか？

さくらプラザで働き始めるまでほとんど知らない場所でしたが、駅前は様々な施設がそろっていて大変便利な印象です。戸塚は横浜市ですが「横浜」というイメージよりも鎌倉に近いイメージを持っています。また、戸塚区は広いというイメージもあり歴史も深いので、もっと色々見に出歩きたいのですが、なかなか実現できていません。「SAKURA Vol.40」から始まった「イガラシコガラシタケの戸塚今昔物語」ではそのあたりも楽しめると思いますので、ぜひ多くの方にご覧いただきたいです。

—今後の夢や目標をお聞かせください。

2年前から犬を飼い始めたので、その成長が何よりも楽しみです。毎朝5時に起きて一緒に散歩に行くのが日課となって、それがちょうどいい運動になっているので健康管理に気を付けて、いつも元気でいたいです。



この後ろ姿から何処のどなただろうと想像してみてください。次号では見返りポーズでお顔を公開します！

戸塚今昔物語
Vol.1
イガラシコガラシタケの



上倉田にあった踏切(囲んだ辺りがその場所です)

車の数と電車の本数が多い朝夕は本当にひどい渋滞だったので、「また踏切渋滞だ！」いつになったら横断できるのか！という車での体験はいつも忘れないことはないでしょう。

この踏切も「豊田陸橋」が完成し役目を終えたのか、その姿を消しました。

他にも歩行者や自転車しか渡れない小さな踏切もありましたが、それらも今はありません。

さて、地下道の話を続けたいところですが、それは次回に。

戸塚今昔物語、お付き合い、ありがとうございました。

★次回は「東と西」の地下道です。

五十嵐 武 Takeshi Igashira
生まれ育ち戸塚の区民。ラストステージは
縁あってここ戸塚で働くことに。

戸塚区民文化センターさくらプラザ

館長 小林 君江さん

2018年よりさくらプラザの館長を務めています。
よろしくお願いします！



戸塚人に逢いに行こう!
戸塚区民文化センターさくらプラザ
横浜市戸塚区戸塚町16-17 戸塚区総合庁舎4階
受付時間 9:00～21:00
休館日：毎月第2火曜日、12月29日～1月3日



次号の戸塚人は…?

さくらプラザコンサートスケジュール

※2020年4月10日時点の情報です。新型コロナウイルスの感染拡大状況によっては変更になる場合がございます。最新情報につきましてはホームページをご確認ください。

若林 順 セルフプロデュース ショパン:全ピアノ作品シリーズ

ショパンを巡る旅 2018-2020《全15回》

『ラストシーズン』5/22、7/3、9/18、11/6、

2021.2/26 以上すべて(金) 19:30

若林 順(ピアノ) 他

全席指定 一般 2,500円／学生 1,500円

シーズンシート(5公演セット) 10,000円



好評
発売中

さくらプラザ オペラシリーズ Vol.2

日本語で味わうオペレッタ「こうもり」

～台詞付きハイライト上演ピアノ伴奏版～

ヨハン・シュトラウス2世 作曲

村上 敏明(アイゼンシュタイン)

柴田 紗貴子(ロザリンデ)

大山 大輔(ファルケ)

長島 由佳(アーダーレ)

郷家 晓子(オルロフスキイ)

巨瀬 励起(ピアノ)



まもなく
発売

11/21(土)14:00

全席指定

一般 4,000円／横浜市民 3,500円

EX席(2F見切れ席) 2,000円

学生 1,500円

※23日開催を予定していましたプレコンサートおよび
さくらプラザ市民合唱団2020の出演は中止になりました。

Ticket さくらプラザ先行電話予約
6/11(木)14:00～
*窓口販売は翌日9:00～

鈴木理恵子 室内楽シリーズ Season2

振替
公演

※3/14(土)の
振替公演です。

Vol.12 ヴィヴァルディ「四季」

(最終回) & バロックの名作とハンガリーの民族色溢れる傑作達

鈴木 理恵子(ヴァイオリン)、デヴィッド・ドーラン(ヴァイオリン)

安田 謙一郎(チェロ)、曾根 麻矢子(チェンバロ) 他



まもなく
発売

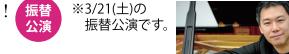
12/5(土) 14:00

全席指定 一般 3,500円

ペア 6,000円／学生 1,500円



ピアノコンチェルトを弾き振りで!
気軽にモーツアルト!



野田 清隆(ピアノ・指揮)

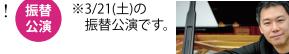
さくらプラザ オリジナルオーケストラ

10/17(土) 17:00

全席指定 一般 3,500円

横浜市民 3,000円／学生 1,500円

EX席(補助席・見切れ席) 1,000円



上記2公演共通
Ticket さくらプラザ先行電話予約
6/12(金)14:00～
*窓口販売は翌日9:00～

ららら♪ドレミシリーズ

【第1回】10:45 / 【第2回】12:00 各回約45分

全席自由 各回 500円(0歳より有料) 会場:リハーサル室



Vol.10 0歳から大人まで楽しめるコンサート
9/23(水) ~Bambiniが贈る真っ赤な秋~



Bambini(パンギーニ)



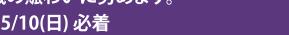
※Vol.8, 9公演は中止になりました。その他2020年度開催日程については、チラシもしくはホームページをご覧ください。



※Vol.8, 9公演は中止になりました。その他2020年度開催日程については、チラシもしくはホームページをご覧ください。



※詳細はチラシもしくはホームページをご覧ください。



第8回 戸塚区民によるさまざまなジャンルの文化芸術活動を
募集し、地域の賑わいに努めます。
【募集締切】5/10(日) 必着

※詳細はチラシもしくはホームページをご覧ください。

掲載された方には、お好きなさくらプラザ主催公演
チケット*をプレゼント!

*ご要望に沿えない場合もございます。あらかじめご了承ください。

●氏名 ●掲載用ペンネーム ●ご住所 ●お電話番号 を必ず記載の上、郵送もしくはメールにてお送りください。

※ご記入いただいた個人情報は、当コーナーの目的以外には使用いたしません。※200文字程度におまとめください。

※誌面の都合上、原稿を一部修正させていただくことがあります。

※誌面の都合上、原稿を一部修正させていただくことがあります。

チケットはお電話 (045-866-2501) でご予約いただけます。(一部除外あり)

出演者・曲目などは変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。

※学生券をお買い求めの際は学生証を必ずご提示ください。

日本を代表するスーパー・テナー

福井 敏 テノールリサイタル

輝く美声がさくらプラザ・ホール450席を包み込む

福井 敏(テノール)、谷池 重紘(ピアノ)

6/13(土)⇒2021.1/31(日)14:00に延期となりました

発売日等最新情報はホームページをご確認ください。



全席指定 一般 4,500円／横浜市民 4,000円

EX席(2F見切れ席) 3,000円／学生 2,000円

前橋 汀子 珠玉の名曲集 in 戸塚

前橋 汀子(ヴァイオリン)、松本 和将(ピアノ)

9/12(土) 14:00

全席指定

一般 3,700円／横浜市民 3,500円

EX席(補助席・見切れ席) 2,000円

学生 1,500円

購入者限定!リクエスト投票を実施します。

※詳細はチラシ・ホームページをご覧ください。



Ticket さくらプラザ先行電話予約
5/27(水)14:00～
*窓口販売は翌日9:00～

6月のBIG BAND PARTY

共催 6/7(日)14:00 *さくらプラザでは窓口販売のみ取扱い

全席自由 前売 1,500円／当日 2,000円



名曲サロン シリーズ

リハーサル室公演 【第1回】11:30／【第2回】14:30

各回約45分間／全席自由 各回 800円

シーズンチケット(4公演セット)

3,000円 ※6/18(木)まで販売

Classic salon
名曲サロン
シリーズ



Vol.23 ヴァイオリン
デュオ コンサート

振替
公演

※4/29(水・祝)
の
振替公演です。

さくらプラザ サポートアーティスト

大澤 理菜子(ヴァイオリン)、早瀬 綾香(ヴァイオリン)

Ticket 発売日等最新情報は
ホームページをご確認ください。



Vol.24 マリンバ アンサンブル

6/18(木) コンサート

三神 紗里子、篠崎 陽子、伊藤 すみれ(マリンバ)



Vol.26 新春!声楽と器楽の 2021.1/7(木) アンサンブルコンサート

畠中 紫甫(ソプラノ)、菊地 理恵(ヴァイオリン)

漆間 有紀(ピアノ)



Vol.25 ホール特別公演

10/21(水) クラリネット チェロ ピアノによる
アンサンブル

14:00 約90分間 全席指定 1,500円

安田 茜々子(クラリネット)、富田 祥(チェロ)

浅井 隆宏(ピアノ)



第8回
区民事業
大募集!

戸塚区民によるさまざまなジャンルの文化芸術活動を
募集し、地域の賑わいに努めます。

【募集締切】5/10(日) 必着

※詳細はチラシもしくはホームページをご覧ください。

掲載された方には、お好きなさくらプラザ主催公演
チケット*をプレゼント!

*ご要望に沿えない場合もございます。あらかじめご了承ください。

●氏名 ●掲載用ペンネーム ●ご住所 ●お電話番号 を必ず記載の上、郵送もしくはメールにてお送りください。

※ご記入いただいた個人情報は、当コーナーの目的以外には使用いたしません。※200文字程度におまとめください。

※誌面の都合上、原稿を一部修正させていただくことがあります。

※誌面の都合上、原稿を一部修正させていただくことがあります。



戸塚区民文化センター さくらプラザ

TEL: 045-866-2501 FAX: 045-866-2502

〒244-0003 横浜市戸塚区戸塚町16-17 戸塚区総合庁舎 4F

<https://totsuka.hall-info.jp>

event@totsuka.hall-info.jp



Vol.41

5・6月発行

